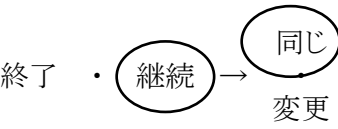
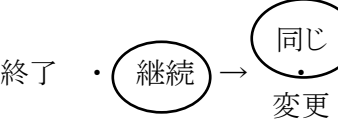


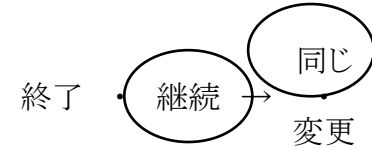
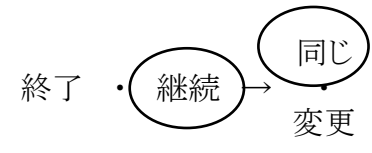
目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
① サービス事業者が支援に係る知識の習得や技術が向上し、サービス内容の充実につなげる ② サービス管理責任者、生活支援員の質の向上 ③ 他の事業所の支援内容を知ること、サービスの質の向上に繋げられるよう必要な支援を学ぶ ※	◇日中活動系連絡会・就労支援連絡会合同連絡会	P.35	第1回6月5日開催 【参加者 20名】 近況報告・情報共有 第2回10月2日開催 【参加者 19名】 事業進捗報告 第3回令和6年2月2日開催 【参加者 18名】 オアシス小牧進捗状況 ・保護者向け事業所紹介、事例検討会、にじカフェ・にじいろマルシェ、日中活動系事業所見学会、こまき福祉のおしごとフェアの事業報告・意見交換会	第1回：各事業所の取り組みを知ることができた。 第2回：今年度の取り組みに向けての意見交換や、役割分担を行うことができた。 第3回：保護者向け事業所紹介、事例検討会、にじカフェ・にじいろマルシェ、日中活動系事業所見学会、こまき福祉のおしごとフェアなどの各事業の取り組みや課題を知り、令和6年度に向けて、サービス内容を充実させるため、どのようなことに取り組んでいくと良いかを話し合うことができた。	終了・継続・変更 終了・継続 → 同じ変更	日中活動系連絡会・就労支援連絡会合同連絡会を継続し、他の事業所の支援方法を知り、情報共有することで、知識の習得や、サービスの質の向上につなげていくことができる。 令和6年度も、各担当部会に分かれて話し合い、イベントや、作品展示の場等に参加できるよう進めていく。 余暇活動に目を向けることで、利用者の生活の質を上げる取り組みにつなげていく。 また、令和6年度は保護者及び教員向け進路説明会を相談支援事業所連絡会より引き継ぐ。 理由は、特別支援学校生徒の進路先が生活介護や就労継続支援A型・B型等日中活動系や就労事業所の選択肢もある為、保護者や教員とつながりをつくっていく。

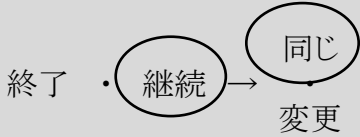
目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇日中活動系事業所の受け入れによる事業所見学会 (対象:障がい福祉サービス事業所職員)		11月27日(月)～12月8日(金)実施 参加者:30名 受入事業所:9事業所	日中活動系や就労支援の事業所が生活介護等の事業を見学することで自事業所のサービスの質の向上につなげる機会となった。また、こどもの事業所が卒業後の進路相談をされた時に役立つ機会となった。 日中の事業所が他の生活介護等の見学期間の提示から希望・調整の期間が短かった。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	見学期間の提示から希望・調整の期間が短かった為、次回以降希望・調整の期間を長くする。 来年度は、受け入れ事業所を変更して(こどもの事業所)事業所見学会を実施していく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
※続き	◇事例検討会		10月2日開催 【参加者 19名】 事例提供者:就労継続支援A型事業所 地球子ども村 大竹 泰史 助言者:愛知県精神保健福祉センター 医師 関口純一 テーマ:「共依存関係の親子の自立を促すためにできること」	日中活動系・就労支援連絡会を合同で4グループに分かれてグループワークを行い、各グループとも事例の課題及び課題解決に向けてのアイデアを出し合うことができた。 助言者の医師より共依存関係の家族について支援のあり方のアドバイスを受けた。	終了・継続・変更 	日中の生活を支える事業所や就労を支援する事業所のサービスの質を上げるには事例検討会は必須である。
① 余暇活動の場の確保 ② 市民の スポーツ大会・イベント等に障がいのある人が参加する ③ 障がいのある人の創作活動や展示・発表の場の充実※	◇にじカフェ・にじいろマルシェ開催予定	P.38 P.46 P.47	①にじカフェ・にじいろマルシェ開催に向けての打ち合わせ 毎月開催 【担当者 7名】 ②11月25日(土)10:00～15:00開催 場所:小牧市にぎわい広場駅西エリア 来場者:188名 クイズラリー参加者:96名 アンケート記入者:43名	地域の皆様に、福祉サービス事業所を知って頂く機会となり、事業所で取り扱う商品を販売することができた。	終了・継続・変更 	マルシェの開催により、障がい就労施設による物販の機会の充実を図る。マルシェを行う会場やにじカフェと一緒にいくか検討していく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き			③とよめサロン利用 活性化プロジェクト への協力(会場は2 回共とよめサロン) ・物販 ・地域の保健相談 第1回 9月27日 【8事業所参加】 【マルシェ来場者 78名】 第2回 令和6年1月30日 【8事業所参加】 【マルシェ来場者 47名】	地域の方々に、福祉 サービス事業所を知っ て頂く機会となり、事業 所で取り扱う商品を販 売することができた。 平日にどこにも通って いない利用者に案内し たことで来場され、余 暇の時間を過ごすこと ができた。	終了・継続・変更 (※) 終了・継続 → 同じ ・変更	マルシェを開催することで、 地域の方々に、福祉サービス 事業所のPR、物販の促進に 繋がる。また、利用者に案内 することで、余暇の時間を提 供することができる。 今後も、とよめサロン活性化 プロジェクトへ協力していく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
※続き	◇小牧市内のスポーツ大会や、文化芸術活動の情報共有、参加(小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーションや、小牧市障がい者作品展「こまきアール・ブリュト展」等のイベント) ◇ボランティア活動の窓口となる社会福祉協議会と連携し、障害のある人の余暇活動の支援を行うボランティアに参加協力の依頼	P.38	①サンデーボランティア主催 身体障害者福祉協会協力 「ボッチャ教室」 7月よりふれあい総合相談支援センターの相談支援専門員が利用者へ試験的に参加を呼びかけた。 9月より事業所向けに案内開始。 参加者 7月:17名 8月:15名 9月:16名 10月:18名 11月:18名 12月:18名 1月:27名 2月:28名 3月:28名	ボッチャ教室 ・呼びかけた利用者の中では、「楽しかった」と、継続して参加されている。 ・日中活動系・就労支援・こども・相談支援事業所連絡会に定期的にメールやチラシを配り、徐々に周知ができてきた。 ・余暇活動の場のひとつとなってきた。 ・令和6年1月より個人ボランティアが参加し、審判の協力を得ている。	終了 ・継続 → 同じ 変更	余暇の活動として、各事業所や、相談支援専門員が呼びかけたことにより、参加利用者が、さらに家族やお友達にも声をかけ、参加者が増えてきている。今後も余暇の活動の一つとして継続して呼びかけていく。
			②10月より、とよめサロンにて福祉サービス事業所の作品展示。	②とよめサロンの作品展示スペースの環境を整えた。今後事業所への呼びかけを行っていく。	終了 ・継続 → 同じ 変更	とよめサロンだけでなく、作品展示できる場所があれば、情報提供を行っていく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
※続き			③小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーション 参加者:114名 ボランティア:69名 保護者、施設職員:90名 計:273名	新型コロナウイルスが5類に移行され、昨年より多くの方が参加された。 (参考)令和4年度スポーツ・レクリエーション 参加者:76名 ボランティア:54名 保護者、施設職員:63名 計:193名	終了・継続・変更 	小牧市障がい者(児)スポーツ・レクリエーションを通して障がい者理解を進めていく。また、障がいのある人の参加を促進する。
			④こまきアール・ブリュット展 開催日:12月2日～10日 会場:ラピオ 来館者数:633名 会場:図書館 来館者数:不明	事務局よりメールでチラシデータを日中活動系・就労支援・こども・相談支援事業所連絡会に送り周知ができた。 主催者である小牧市がチラシを市役所、市内事業所に広報。12月広報こまきに掲載された。	終了・継続・変更 	障がいのある人の創作活動や展示・発表の場など必要な情報提供をしていく。

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
① 障がい者が日中通える事業所をPRする	◇「障がい者が通う日中活動系事業所ガイドブック」の更新	P.32	各事業所の内容の見直しと、新規事業所の掲載データを作成し、2月末に完成。 各サービス事業所、相談支援専門員に配布した。	掲載内容を見直し、新規事業所についても掲載したことで、最新の情報を提供することができた。	終了・継続・変更 	令和6年度も、新規事業所を含めて、継続して冊子を作成し、障がいに関する理解の促進、事業所の周知に繋げていく。 なお、次年度に向けて、冊子をデータ化していくのか、このまま継続して冊子にしておくのかを検討する。
	◇にじいろマルシェこまき社協だより掲載(12月号)		10月号のこまき社協だよりで11月25日開催のにじいろマルシェを掲載 11月号のこまき広報に掲載	社協だよりや広報を見てマルシェに来てくれる方がいた。	終了・継続・変更 	マルシェの広報により、障がい者理解を進めていく。 また、障がい就労施設による物販の機会の情報提供をする。

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更